

Xmasツリーで被災地支えよう

東日本大震災で職を失った女性たちが再起を期してつくった「クリスマスツリー飾り」を販売するイベントが11月16日から12月13日まで、阪神大震災で大きな被害を受けた大丸神戸店など大丸松坂屋百貨店の県内4店舗で開かれる。被災地の心を知る神戸から東北にエールを送る企画で、生活再建に欠かせない仕事の確保を支援する狙いだ。

現地で手作り飾り

県内4百貨店で販売へ

イベントは、東北の被災女性らに雇用の場の提供を目指す非営利型一般社団法人「チームともだち」（埼玉県吉川市）の取り組みを

同社関係者が知ったのがきっかけ。会場は、大丸神戸店と新長田店、須磨店、芦屋店。各店とも阪神では従業員や家族などが被災し、

「多くの人に支えられて復興の道を歩むことができた恩返しをしたい」（大丸神戸店担当者）と企画した。

ツリー飾りは「東北グラマの作ったXmasオーナメント」として「小5個入り」と「大1個」をそれぞれ千円で販売している。岩手県久慈市や、陸前高田市、宮城県石巻市の3拠点で生産しており、漁場で働き続けてきた女性らを中心

に手縫いの製品をつくっているほか、津波で設備が全壊した縫製工場や下着製造会社などもサポートしている。

チームともだちの関西地域を担当する斎藤悠実さんは「被災地の仕事づくりと心の交流が目的で、一回だけのイベントで終わるのではなく、息の長い活動にしたい」と話している。



被災地支援の思いを込めて販売するクリスマスツリー飾り

東日本大震災